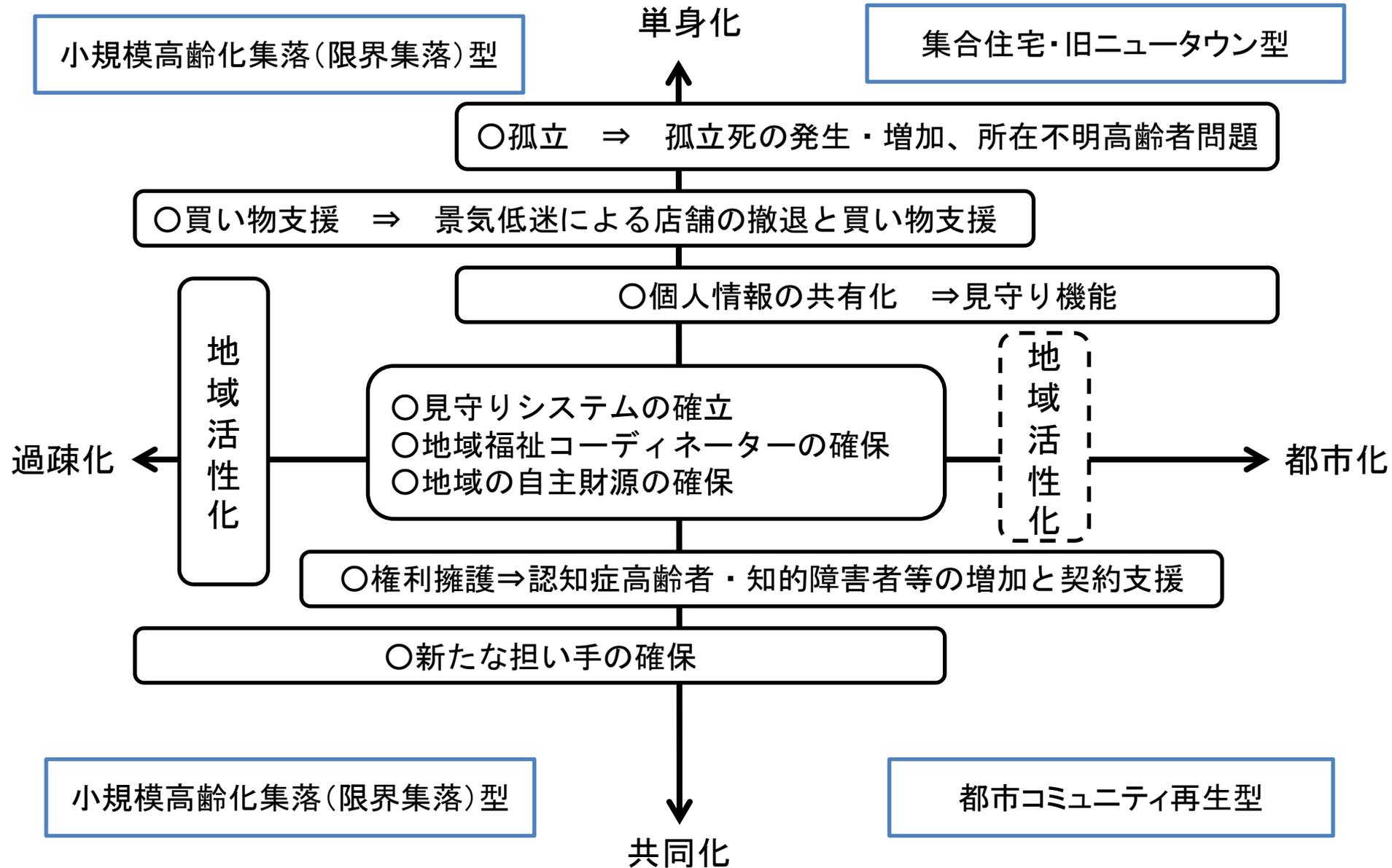


安心生活創造事業成果報告書の まとめ方(案)について

報告書作成に向けた安心生活創造事業推進検討会における地域特性と課題の構造化



◎共通した方法論⇒総合相談体制の確立、地域福祉計画の策定

安心生活創造事業成果報告書のまとめ方(案)

1. はじめに(問題提起・課題の可視化)

- 孤立
- 買物支援
- 個人情報
- 単身化
- 権利擁護
- 地域人材確保
- 見守り

- 安心生活創造事業創設のねらい・経緯・目的
 - ・公的サービスの限界・制度の谷間の問題
 - ・善意の支えあいの限界 等
- 推進検討会設置の経緯・目的

2. 安心生活創造事業の概要

- 安心生活創造事業の3原則と考え方
 - ・もれない把握
 - ・もれない体制づくり
 - ・地域の自主財源づくり
- 地域福祉推進市町村の取組みにおけるポイント

6. おわりに ～継続的な支援～

- 地域主権
- 総合相談体制の確立
- 地域福祉計画の策定
- 残された課題

5. 提言・提案 ～地域福祉実践モデル～

- モデル提示
- 本事業を評価し、必要な事項について全国に発信し、全国展開につなげる。

4. 安心生活創造事業を実施 する中で見えてきたこと

- 事業の成果
 - ・もれない把握システム確立
 - ・新しい公共の観点(見守り協定や連携)
 - ・総合相談窓口開始自治体増
 - ・地域の自主財源づくりに取組む自治体が増加
- 課題
- 期待される効果

3. 地域福祉推進市町村 の成功事例

- 推進市町村の中から原則ごと等で成功事例を抽出・紹介。
- 地域特性、総合相談等課題を対応させた事例の記載。